



冬の交通事故について

～12月は1年の中で最も事故が多い？～

1. 年末年始の交通事故

12月は仕事納めや年末進行、各種行事等でバタバタしているという方も多いのではないのでしょうか。

- ・ 急いでいるからとついスピードを出してしまう
- ・ 疲労が蓄積しボーっとしてしまう
- ・ 他のことに気を取られ注意力が散漫してしまう 等...

年末年始は交通事故発生件数が特に増加する季節です。

12月に発生する事故は、1月～11月の平均より約1.2倍も多く、1年で最も交通事故が多いというデータがあります！

忙しい12月を安全運転で過ごし、安心して新年を迎えられるよう、対策について一緒に考えてみましょう



2. 運転を安全に行うために

◎早めにヘッドライトを点けましょう！

冬の季節は午後3時を過ぎると薄暗くなり始めます。「まだ明るい」と感じていても徐々に視界は悪くなっています。歩行者を発見した時に危険回避出来るよう早めにヘッドライトを点けましょう。

◎スマホやカーナビの確認は安全な場所で！

走行中に目を移すとその間に歩行者が道路に出てくる等、危険な状況になる可能性があります。特に12月は歩行者も車も多く、1秒にも満たないわき見が重大事故に繋がります。

操作が必要な時は同乗者にやってもらうか、安全な場所に停めてから行いましょう。

◎定期的に車内を換気し、休息をとりましょう

暖房が効いた車内は酸素が不足し眠気を催します。また、忙しいと眠くなりやすい為、運転するときは定期的に換気や休息を行い、安全運転に努めましょう。

2. 運転を安全に行うために

◎車間距離を保って法定速度を維持しましょう

12月は何かと忙しくなることが多く、ドライバーは不十分な車間距離や速度超過など不安全な運転をしがちになります。同様に歩行者も横断歩道がない場所でいきなり横断してくるなど、危険な行動をとることがあります。視界を確保するため車間距離を十分にあげ、法定速度を維持し、周囲の安全確認を行いましょう。

◎ゆとりある走行計画を立てましょう

12月は交通量が多くなり、予定どおりに進まなくてイライラすることがあります。イライラや焦りは、安全確認不足や車間距離を詰めてしまうなど運転が雑になる可能性があります。

あらかじめ時間にも心にもゆとりをもてる計画を立ててから運転しましょう。



3. 雪道で起こりうる危険な現象

* アイスバーン

雪道以上に滑るので要注意です！

昼間に積もった雪が解けたときや、雨が降った後の冷え込みが強くなる夜間や明け方は、**一見すると濡れたアスファルト路面のように黒く見えるのに、実は表面が凍りついている路面「ブラックアイスバーン」になる可能性があるため注意！**

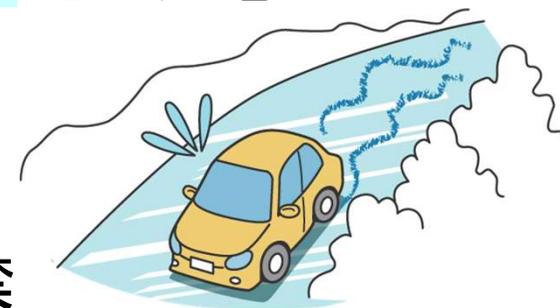


滑ることを前提にした慎重な運転が必要

発進、停止、カーブで「急」のつく動作は厳禁

断続的にブレーキを効かせるポンピングブレーキが有効

速度が高まるほど止まりづらくなる為速度を落としましょう



3. 雪道で起こりうる危険な現象(2)

* 轍 (わだち)

大前提として轍に沿って走ることが大切です。凹凸の凹部分に車輪をはめ込むことにより、敷かれた線路を走るイメージです。反対に、凸部分に車輪を乗せていると急にハンドルが取られる事態となります。両方の轍に届かないときは片側だけでもはめ込むと安心です。



轍にタイヤをはめ込んで走行すること (例外有)
車の挙動を感じるためハンドルを強く握りすぎない
ハンドルを取られても慌てずに少しだけ戻す



3. 雪道で起こりうる危険な現象 (3)

* ホワイトアウト

大雪と強風がある場合には、「ホワイトアウト」という現象が起きます。強風で舞い上がった雪によって視界が真っ白になった状態のことです。視界が非常に悪くなるのが特徴です。



ホワイトアウトが発生した場合、まずはハザードランプやヘッドライトをつけて周囲に車の存在を知らせながら減速
します。後方の安全が確認できたら、車を道路の端に寄せ
て吹雪や大雪が落ち着くのを待ちましょう。
ホワイトアウトに遭遇しても慌てず、視界を
確認しながら少しずつ車を進めましょう。



4. まとめ

12月は特に交通量も多くなる、ということ意識することが大切です。歩行車の立場になったときにも無茶な横断などはせず、1人でも多くの交通事故被害者を減らせるよう心がけましょう。

次回

1月26日(木) 18:30~19:00

よろしくお願いたします

